

## 【取材のお願い】 多気町産の「次郎柿」の出荷が始まります

J A多気郡（代表理事組合長：西井正）管内では、10月13日（水）に目ぞろえ会を行い、15日（金）から「次郎柿」の出荷が始まります。

今年の次郎柿については、生育はやや早く推移しましたが、長雨の影響もあり収量は平年よりやや少ない450トンを見込んでいます。着色は平年並みで推移しており糖度も乗り上々の出来栄えとなっています。10月15日から多気町のJ A多気郡共同撰果場が出荷が始まり、12月上旬頃まで続きます。

次郎柿は、柿の代表格として富有柿とよく比較されますが、“富有はあごで食べ、次郎は歯で食べる”と言われるほど歯ごたえが良く、糖度が高く、甘みの強いのが特徴です。多気町では、生産者・前川唯一氏が次郎柿の中に特別早く熟する枝を発見、昭和32年に「前川次郎」と命名し、その後全国でも栽培されるようになりました。

現在当J A管内では、生産者約149戸、面積約80haで次郎柿を栽培しており、年間の出荷量は約500tと県内最大の産地です。当J A農産物直売所「スマイル」多気店・明和店など県内外の販売店や、2014年からはタイへ、また香港・シンガポール・マレーシアにも輸出を始めるなど、国内外から甘柿の最高級品として毎年好評をいただいています。



昨年を目ぞろえ会の様子



選果の様子

### ◇取材対応日時について

日時：令和3年10月21日（木）

※選果の都合上、14：00～15：00の間で取材対応させていただきます。

場所：J A多気郡共同撰果場（多気町四神田 340-2）

※取材をご希望される場合は、事前にご一報願います。

※素材写真の提供も可能です。

【お問い合わせ先】※農家の紹介もいたします。

J A多気郡 総務企画部企画管理課（広報担当：前川）

TEL:0596-52-0121 FAX:0596-63-5066 E-mail:k.maegawa@ja-takigun.or.jp